

インフルエンザ流行期の対策

【原因】

感染者のせきやくしゃみによる飛沫や接触により、ウイルスが体内に入ることによって起こります。



【症状】

- ・咽頭痛や咳などの呼吸器症状、38～40度の高熱や倦怠感と共に、しばしば頭痛、筋肉痛、関節痛などの全身症状を認めます。
- ・移植後は、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化して入院が必要となる場合があります。



【具体的な対処方法】

(1) 感染予防

- ・帰宅時や食事を準備する前などに**手洗い**、**うがい**をしましょう。
- ・インフルエンザが流行してきたら、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ・外出する際は**マスクを着用**しましょう。
- ・家族にも予防接種をしてもらいましょう。

(2) 予防接種

- ・12月～3月が流行シーズンです。10～11月から**インフルエンザワクチン**の接種を受けましょう。

(自費：3000～5000円程度。医療機関によって異なります)

- ・接種前に**接種してよいか主治医に確認**しましょう。
- ・移植後は**ワクチンを打っていないと重症化**することがあります。
- ・予防接種を受けてもインフルエンザにかかることがありますが、重症化を防ぎ、症状が比較的軽く済むことが期待されます。



(3) インフルエンザが疑われた時の対処法

インフルエンザが疑われる症状を認めた場合は、早めに医療機関に相談・受診しましょう。受診のタイミングが早いと、診断がつかない場合もありますが、**重症化のリスクがあるため、早めの受診**を心掛けて下さい。

(4) 家族がインフルエンザになった時

なるべく部屋を別にして生活するとともに、タミフル等の予防内服について主治医と相談しましょう。

ご不明な点はLTFU外来担当者までお尋ねください。

2021年3月4日

